

令和2年度 センター研究の概要

＜研究の目的＞

山梨県総合教育センターの研究分野における使命は、国並びに本県の教育施策を踏まえ、関係機関と連携し、シンクタンク機能の充実に資する研究成果を蓄積・発信することにより、本県の学校教育への支援を行うことにある。

その基本的な考えのもと、学校現場の現状に即した今日的な教育課題解決に向け、「実践的な学校支援」と「教職員の教育力向上」につながる「教育実践研究」を推進し、本センターの基本方針「学校教育を支援する確かな情報発信源としての総合教育センター」を実現することを目的とする。

併せて、研究成果を基に本センター研修や相談業務の充実に図りながら、調査研究と研修の一体化を念頭に、本県学校教育の振興と充実に寄与できるよう研究を推進する。

＜研究主題＞

「資質・能力の育成に向けた学校教育への総合的な支援」
～生きる力を育む実践的指導の在り方～

＜研究内容＞

『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業づくりの支援と有効性の検証」「各種調査結果の分析・考察を通じ、課題解決や授業改善に向けた指導の在り方の提示」「情報教育・教育相談・特別支援教育の領域における学校現場の現状とニーズに応じた支援と、効果的な取組の実践検証」を行い、学校現場での活用につながる、具体的かつ実践的な研究を推進する。

＜研究体制＞

- 「授業づくり・学校づくり、情報教育、教育相談、特別支援教育」の4つの領域において、全指導主事がチームを組み、研究協力校（小学校6校、中学校1校、高等学校1校）と連携し、実践的な学校支援を基盤とした協同研究を継続する。
- 「授業・学校づくり」の領域では、研究協力校への支援として、職員意識改善・授業改善提案を積極的に行うとともに、各種学力調査の分析結果を活用し、授業改善を推進するための資料を全県下へ周知するための協同研究を行う。
- 「情報教育」の領域では、児童生徒のICT活用を指導するための教員のICT活用能力及びICT活用指導力の向上を目指した支援をベースとした協同研究を行う。
- 「教育相談、特別支援教育」の領域では、学習指導と生徒指導を両輪と捉え、実践事例及び各種調査の結果を活用した協同研究を行う。適応指導教室については、その年度の実績・実践をまとめることにより、相談支援の研究の一部とする。

＜研究に関するお問い合わせ先＞

山梨県総合教育センター 調査研究課 (〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1456)
TEL 055-262-6180 (直通) FAX 055-262-5572 e-mail: kenkyuka@kai.ed.jp